本店および主要な事業所（平成24年６月28日現在）

本　　店	東京都江東区永代2丁目37番25号 〒135-8513　電話(03)5646-7220(代表)
ロジスティクス営業本部	本店同所在地
営業管理部	本店同所在地
国際営業部	本店同所在地
広域営業部	本店同所在地
引越営業支店	本店同所在地
東京支店	本店同所在地
横浜支店	横浜市中区海岸通3丁目9番地 〒231-0002　電話(045)201-7535
北関東支店	さいたま市北区大成町4丁目914番地1 〒331-0815　電話(048)654-8801
中部支店	愛知県小牧市入鹿出新田822番地 〒485-0084　電話(0568)76-4597
大阪支店	大阪市港区築港4丁目1番11号 〒552-0021　電話(06)6573-9100
神戸支店	神戸市中央区港島1丁目5番地8 〒650-0045　電話(078)940-6008
中国・九州支店	福岡県糟屋郡新宮町下府2丁目9番26号 〒811-0112　電話(092)962-6070
不動産営業本部	本店同所在地
不動産部	本店同所在地

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 なお、電子公告は次のホームページアドレスに掲載します。 http://www.shibusawa.co.jp/

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
  株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
  なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
  株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK

B U S I N E S S　R E P O R T

当社 小樽運河倉庫

第165期 報　告　書

2011.4.1 ―― 2012.3.31

STRATEGIC LOGISTICS

澁澤倉庫株式会社

The Shibusawa Warehouse Co.,Ltd.

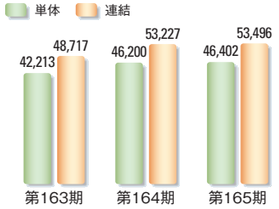
当社創業者 **澁澤 榮一**

当社は、わが国近代経済社会の基礎を築き、「論語」思想に基づく「道徳経済合一説」を実践した澁澤榮一によって、明治30年（西暦1897年）に創業しました。

財務ハイライト

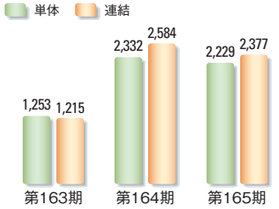
営業収益

（単位：百万円）



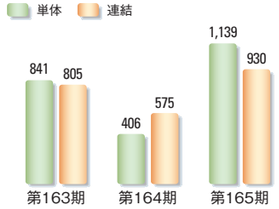
経常利益

（単位：百万円）



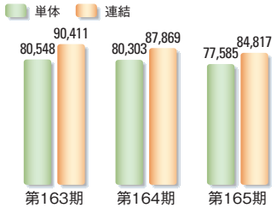
当期純利益

（単位：百万円）



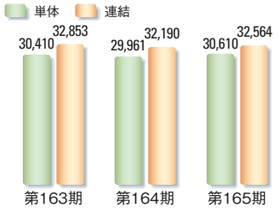
総資産

（単位：百万円）



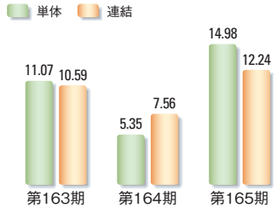
純資産

（単位：百万円）



1株当たり当期純利益

（単位：円）



株主の皆様へ

TOP MESSAGE

代表取締役社長 笠原 伸次

平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループ第165期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業の概況、会社の概況ならびに決算の内容につきましてご報告申し上げますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当期のわが国経済は、東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ後、生産活動やサプライチェーンの復旧に伴い着実に持ち直してきましたが、秋口以降の海外経済の減速や円高、タイの洪水の影響により持ち直しのペースが鈍化しました。

物流業界におきましては、消費財関連貨物の荷動きが底堅く推移した一方で、円高の持続やタイの洪水の影響で輸出貨物が減少し、荷動きの停滞が続いたほか、不動産賃貸業界においては、都市部のオフィスビルの賃料相場の下落が続くなど、事業環境は厳しいものとなりました。

このような情勢のもと、当期における当社グループの連結業績は、営業収益は前期並みとなり、営業利益、経常利益は作業費等の増加や資金調達費用の増加で下回ったものの、前期に計上した事業整理損失および災害による損失が解消したことにより、特別損失が減少したため、当期純利益は前期を上回る結果となりました。

当期におきましては、当社グループの中期経営計画「SUCCESS 2012」に沿った事業戦略を進め、積極的な営業活動を展開し、ベトナム現地法人が新たにハノイ支店を開設するなど海外ネットワークを拡充したほか、平成24年2月には神戸地区にて新たに賃貸用寄宿舎が竣工するなど、澁澤グループの総合力の更なる強化に努めてまいりました。

当期末の配当金につきましては、当初の予定どおり1株につき3円50銭とし、中間配当金3円を含めた当期の配当金は、1株につき6円50銭とさせていただきました。

大変厳しい事業環境ではございますが、今後とも、役職員一同、企業価値の増大へ向けて邁進してまいりますとともに、「チャレンジ、クリエイト、コオペレイト すべてはお客様のために」を経営モットーに、お客様第一、現場第一、安全第一を貫徹し、お客様や社会から確かな信頼を得られる企業であり続けることを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月28日

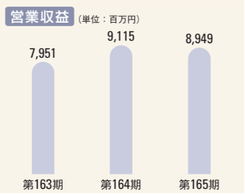
セグメント別の概況

物流事業

倉庫業務

寄託を受けた貨物の倉庫保管を行うとともに、庫入・庫出作業およびこれらに伴う諸作業を行う業務

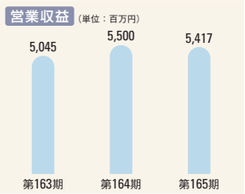
保管料収入は前期並みに推移したものの、震災の影響により流通加工業務等が減少したことが影響し、営業収益は前期比1億6千6百万円（1.8%）減の89億4千9百万円となりました。



港湾運送業務

港湾において船内荷役、沿岸荷役、はしけ運送、上屋保管およびこれらに伴う荷捌を行う業務

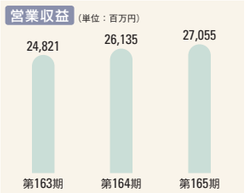
在来船の船内荷役業務が減少したほか、拠点の統廃合による上屋保管料の減少により、営業収益は同8千2百万円（1.5%）減の54億1千7百万円となりました。



陸上運送業務

国内における貨物自動車運送業務およびこれに伴う荷捌を行う業務

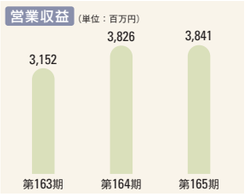
一般消費財の輸配送業務が伸長したほか、海上コンテナ輸送、引越業務の取扱いが増加し、営業収益は同9億1千9百万円（3.5%）増の270億5千5百万円となりました。



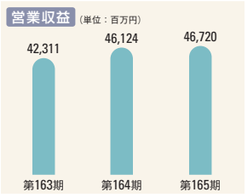
国際輸送業務

国際一貫輸送業務、国際航空貨物運送業務およびこれらに伴う荷捌を行う業務

海上貨物・航空貨物ともに輸出の取扱いが減少した一方、輸入航空貨物の取扱いが伸長し、営業収益は同1千4百万円（0.4%）増の38億4千1百万円となりました。

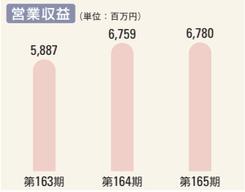


この結果、物流事業全体の営業収益は前期比5億9千5百万円（1.3%）増の467億2千万円となりました。営業費用は、作業費等の増加により、同6億8千5百万円（1.5%）増の452億7千万円となりました。以上により、営業利益は、前期比8千9百万円（5.8%）減の14億4千9百万円となりました。

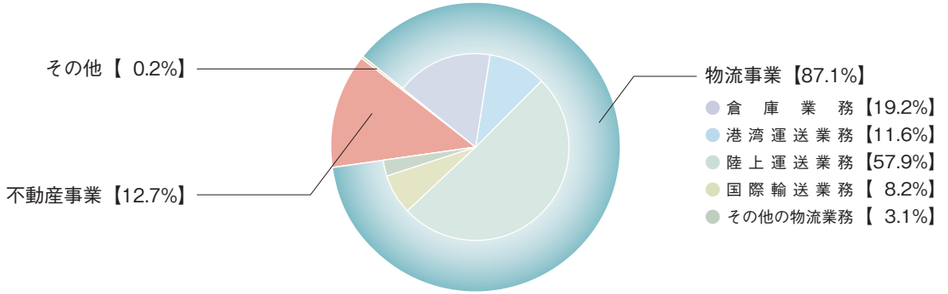


不動産事業

テナントによる節電対策の実施により付帯料収入が減少したものの、施設改修に伴う賃貸料の減額が解消され増収となり、営業収益は前期比2千1百万円（0.3%）増の67億8千万円となりました。営業費用は、光熱動力費が減少した一方で、ビル管理業務費が増加し、同5千4百万円（1.5%）増の38億1千1百万円となりました。以上により、営業利益は、同3千3百万円（1.1%）減の29億6千8百万円となりました。



【セグメント別構成比】



TOPICS

ハノイ支店開設のお知らせ

当社は、平成10年7月にベトナム、ホーチミンに駐在員事務所を開設、平成22年4月にはベトナム現地法人Shibusawa Logistics Vietnam Co., Ltd.を設立し、輸出入フォワーディング業務、通関業務、ベトナム国内の物流業務などベトナム南部のホーチミンを中心に業務を拡大してまいりました。昨年11月にベトナム北部における営業拡大、ベトナム国内の物流ネットワーク強化を目的として、ハノイに支店を開設いたしました。

これにより、ベトナム国内の物流サービスの向上、ベトナム／日本間の輸送のみならず拡大するベトナム／第三国間の輸送ニーズにも適切に対応し、お客様へのサービス体制の拡充に努めてまいります。

名　　称：	Shibusawa Logistics Vietnam Co., Ltd. Hanoi Branch （澁澤ロジスティクス（ベトナム）ハノイ支店）
所　在　地：	Room 21C, 21st Floor, CEO Tower, Pham Hung Street, Me Tri Commune, Tu Liem District, Hanoi City, Vietnam
業務開始日：	平成23年11月30日

ドーミー三宮竣工のお知らせ

当社は、「SUCCESS 2012」の基本方針である保有資産の付加価値向上にむけた有効活用を目的として、旧「神戸澁澤ビル」の跡地に、本年2月に賃貸用寄宿舎「ドーミー三宮」を竣工し、4月から賃貸を開始いたしました。

なお、神戸支店は、平成22年3月に神戸ポートアイランドに移転しております。

【施設・設備の概要】

名　　称：	ドーミー三宮
所　在　地：	兵庫県神戸市中央区御幸通二丁目2番8号
敷地面積：	844.08㎡
延床面積：	4,316.29㎡
建物構造：	鉄筋コンクリート造 地上11階
賃貸開始：	平成24年4月

営業の概況【連結】

● 当期の事業環境

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により大きく落込んだ後、輸出や生産活動の復旧に伴い回復いたしましたが、秋口以降の欧州債務危機、円高、タイの洪水の影響により景気の減速感が強まりました。

こうした経済情勢にあって、物流業界は一般消費財の荷動きが底堅く推移した一方で、円高やタイの洪水の影響により輸出貨物が減少し、荷動きの下押し要因となったほか、不動産賃貸業界では都市部のオフィスビル市況における賃料相場が緩やかに下落を続けるなど、厳しい状況で推移しました。

● 当期の事業概況

このような事業環境のもと、当社グループは中期経営計画「SUCCESS 2012」に沿った事業戦略を進め、積極的な営業活動を展開しました。

物流事業においては、国内拠点の統廃合による合理化を進めたほか、ベトナム現地法人が新たにハノイ支店を開設するなど海外物流ネットワークを拡充しました。また、不動産事業においては、平成24年2月に神戸市中央区に賃貸用寄宿舎「ドーミー三宮」が竣工したほか、既存施設の計画的な保守、改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

● 当期の経営成績

この結果、当期の営業収益は前期比2億6千9百万円（0.5%）増の534億9千6百万円となりました。営業利益は作業費等の増加により、同1億8千2百万円（6.3%）減の27億2千2百万円となりました。経常利益は資金調達費用の増加等により、同2億7百万円（8.0%）減の23億7千7百万円となりました。また、当期純利益については、法人税率の変更による繰延税金資産の取崩しや投資有価証券評価損を特別損失として計上しましたが、前期に計上した事業整理損失および災害による損失が解消したことにより、特別損失が減少したため、同3億5千5百万円（61.8%）増の9億3千万円となりました。

● 次期の見通し

今後のわが国経済は、震災からの復興需要の本格化と個人消費の底堅さに支えられて内需は緩やかに回復すると予測されるものの、円高の影響、海外の景気の減速、高値圏で推移している原油価格、夏場の電力不足等の問題により、国内製造業および輸出を中心として、景気の先行きは依然として厳しい状況が続くものと思われます。

次期の連結業績見通しは、消費財を中心とした貨物取扱量の増加と新規顧客の取扱い、および不動産事業における新規賃貸用寄宿舎が通年で寄与することから、営業収益は当期に比べ7億円増の約542億円と予測しております。営業利益は同1億2千万円増の約28億5千万円、経常利益は同1億2千万円増の約25億円、当期純利益は当期にあった投資有価証券評価損等の特別損失が解消することから、同5億1千万円増の約14億5千万円になると予測しております。

また、次期の個別の業績につきましては、営業収益は約474億円、営業利益は約25億3千万円、経常利益は約22億4千万円、当期純利益は約13億6千万円を予測しております。

連結決算の概要

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 平成24年3月31日現在	前期 平成23年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	21,685	22,367
固定資産	63,120	65,479
有形固定資産	51,538	54,076
無形固定資産	727	710
投資その他の資産	10,853	10,692
繰延資産	12	22
資産合計	84,817	87,869
（負債の部）		
流動負債	13,713	21,769
固定負債	38,539	33,909
負債合計	52,253	55,678
（純資産の部）		
株主資本	31,507	31,122
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,016	17,630
自己株式	△ 19	△ 18
その他の包括利益累計額	396	498
少数株主持分	661	569
純資産合計	32,564	32,190
負債及び純資産合計	84,817	87,869

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
営業収益	53,496	53,227
営業原価	47,658	47,318
営業総利益	5,838	5,909
販売費及び一般管理費	3,115	3,003
営業利益	2,722	2,905
営業外収益	434	435
営業外費用	780	756
経常利益	2,377	2,584
特別利益	136	—
特別損失	349	3,634
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	2,164	△ 1,049
法人税、住民税及び事業税	101	502
法人税等調整額	1,083	△ 2,179
少数株主損益調整前当期純利益	980	627
少数株主利益	49	52
当期純利益	930	575

連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当期（自 平成23年4月1日　至 平成24年3月31日）

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		
当期首残高（平成23年4月1日現在）	7,847	5,663	17,630	△ 18	31,122	1,175	△ 676	569	32,190
当期中の変動額									
剰余金の配当			△ 457		△ 457				△ 457
当期純利益			930		930				930
持分変動差額			△ 87		△ 87				△ 87
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の当期中の変動額（純額）						△ 80	△ 22	91	△ 11
当期中の変動額合計	—	—	385	△ 0	385	△ 80	△ 22	91	374
当期末残高（平成24年3月31日現在）	7,847	5,663	18,016	△ 19	31,507	1,094	△ 698	661	32,564

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前期 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,546	4,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,381	△ 1,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,158	△ 3,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10	△ 32
現金及び現金同等物の増減額	313	609
現金及び現金同等物の期首残高	8,234	7,381
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	243
現金及び現金同等物の期末残高	8,547	8,234

個別決算の概要

貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 平成24年３月31日現在	前期 平成23年３月31日現在
（資産の部）		
流動資産	17,045	17,575
固定資産	60,527	62,705
有形固定資産	47,584	49,119
無形固定資産	697	669
投資その他の資産	12,245	12,916
繰延資産	12	22
資産合計	77,585	80,303
（負債の部）		
流動負債	9,892	18,315
固定負債	37,082	32,025
負債合計	46,974	50,341
（純資産の部）		
株主資本	29,564	28,882
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,660	5,660
利益剰余金	16,076	15,393
自己株式	△ 19	△ 18
評価・換算差額等	1,045	1,079
純資産合計	30,610	29,961
負債及び純資産合計	77,585	80,303

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日	前期 自 平成22年４月１日 至 平成23年３月31日
営業収益	46,402	46,200
営業原価	41,044	40,773
営業総利益	5,357	5,426
販売費及び一般管理費	2,831	2,756
営業利益	2,526	2,670
営業外収益	399	346
営業外費用	696	684
経常利益	2,229	2,332
特別利益	312	—
特別損失	344	3,552
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	2,197	△ 1,219
法人税、住民税及び事業税	40	442
法人税等調整額	1,018	△ 2,068
当期純利益	1,139	406

株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当期（自 平成23年4月1日　至 平成24年3月31日）

	株主資本								評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
		資本準備金	その他利益剰余金							
			特別償却積立金	圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高（平成23年4月1日現在）	7,847	5,660	22	746	10,000	4,624	△ 18	28,882	1,079	29,961
当期中の変動額										
剰余金の配当						△ 456		△ 456		△ 456
特別償却積立金の積立て			13			△ 13		—		—
特別償却積立金の取崩し			△ 3			3		—		—
圧縮記帳積立金の積立て				62		△ 62		—		—
当期純利益						1,139		1,139		1,139
自己株式の取得							△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期中の変動額（純額）									△ 33	△ 33
当期中の変動額合計	—	—	10	62	—	609	△ 0	682	△ 33	648
当期末残高（平成24年3月31日現在）	7,847	5,660	32	809	10,000	5,234	△ 19	29,564	1,045	30,610

会社概要（平成24年３月31日現在）

商号	澁澤倉庫株式会社
（英文表記）	The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.
所在地	東京都江東区永代二丁目37番25号
創業	明治30年（1897年）3月30日
設立	明治42年（1909年）7月15日
資本金	7,847百万円
グループ就業人員数	1,097名
営業種目	倉庫業、陸上運送業、海上運送業、港湾運送業、陸上・海上・航空運送の取扱業、陸海空複合貨物運送業及びその取扱業、通関業、医薬品・医薬部外品・化粧品及び医療機器の包装・表示及び保管業、不動産の売買・仲介・管理及び賃貸業、情報システムの企画・開発・販売及び運営管理業、労働者派遣業ほか

役員（平成24年６月28日現在）

※取締役会長		犬塚静衛
※取締役社長		笠原伸次
兼社長執行役員		
※取締役副社長 兼副社長執行役員	社長補佐、不動産事業・管理部門管掌、コンプライアンス・内部統制担当	齋藤秀一
取締役 兼常務執行役員	管理本部長	柏原治樹
取締役 兼常務執行役員	ロジスティクス営業本部長兼広域営業部長	今井恵一
取締役 兼常務執行役員	大阪支店長	真鍋雅信
取締役		松本伸也
常勤監査役		川上芳夫
監査役		福嶋邦雄
監査役		庄籠一允
監査役		宍戸道夫
監査役		志々目昌史

（注）1. ※印は代表取締役を示しております。
2. 取締役松本伸也氏は、社外取締役であります。
3. 監査役庄籠一允、宍戸道夫、志々目昌史の3氏は、社外監査役であります。

執行役員（平成24年６月28日現在）

上記以外の執行役員は、以下のとおりであります。

常務執行役員	不動産営業本部長	駒﨑慶夫
常務執行役員	ロジスティクス営業本部副本部長（海外担当）	古賀保馬
上級執行役員	ロジスティクス営業本部営業管理部長	小野繁
上級執行役員	横浜支店長	和田康政
上級執行役員	ロジスティクス営業本部国際営業部長	井島孝
執行役員	引越営業支店長	宮内博明
執行役員	東京支店長	永岡照久
執行役員	神戸支店長	増田裕宣
執行役員	管理本部情報システム部長	津田巻男
執行役員	管理本部人事部長	梶原隆
執行役員	管理本部総合企画部長	大隅毅
執行役員	管理本部総務部長	工藤慎一

株式の状況（平成24年３月31日現在）

発行可能株式総数……240,000,000株

発行済株式の総数……76,088,737株
（自己株式53,130株を含む）

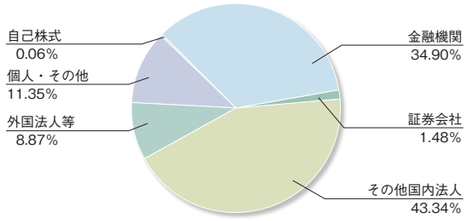
株主数……3,193名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
㈱ドン・キホーテ	7,241	9.5
東京海上日動火災保険㈱	6,340	8.3
清水建設㈱	3,749	4.9
みずほ信託銀行㈱退職給付信託みずほコーポレート銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行㈱	3,748	4.9
プロスペクト ジャパン ファンド リミテッド	2,724	3.6
㈻帝京大学	2,075	2.7
中央不動産㈱	2,058	2.7
㈱埼玉りそな銀行	2,000	2.6
日本ゼオン㈱	1,670	2.2
日本興亜損害保険㈱	1,613	2.1

（注）持株比率は自己株式（53,130株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布



（注）本報告書に記載の金額および株式数は、表示単位未満の端数を切捨てとし、また、百分比につきましては、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。